

委託事業実施内容報告書

平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【ボランティアを対象とした実践的研修】

受託団体名 財団法人 神戸国際協力交流センター

1 事業の趣旨・目的

神戸市には約 44,000 人の外国人市民が居住しており、中でも中国をはじめとする外国人留学生や、いわゆるニューカマーと呼ばれる外国人が増加している。また、市内の外資系企業数や、国際学校の生徒数も増加の傾向にあり、地域国際化の進行が著しい。

そのような中、日本語学習支援の必要性もますます高まっており、当センターにおいても、1,000 名を超えるボランティアが登録しており、外国人市民に対し、日本語や日本文化(書道・華道)を教えるボランティア活動を行っている。その他、市内に 10 か所以上ある日本語教室や、多くの民間団体等でも、活発な日本語学習支援活動が行われている。

こうした状況のもと、前年度からの継続事業として、神戸市内でボランティアとして、日本語支援活動を2年以上行っている者を対象とした「神戸で活動する日本語ボランティア実践講座」を実施することにより、今後受講生のより質の高い活動を確保し、地域の国際化に寄与することを目的とする。

2 企画委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
5月10日	当センター会議室	大和田 邦子 後藤 ひろ子 沢田 幸子 矢谷 久美子	・運営委員、講座講師について検討 ・講座の概要説明 ・カリキュラム案、担当講師について検討	昨年度開催した実践講座の反省をふまえ、カリキュラム等を作成した。
6月7日	当センター会議室	大和田 邦子 後藤 ひろ子 沢田 幸子 矢谷 久美子 松川 恵子 滝川 拓治 ダニエル ハート	・昨年度の講座受講生からのフィードバック ・大幅なカリキュラム内容の決定 ・大学教授に担当して頂く講座第1回、2回の内容について検討	昨年度の受講生2名に講座のフィードバックをしていたほか、実習補助者にも感想等を聞き、意見交換した。 その内容に基づき、今年度のカリキュラム内容を検討していった。

7月13日	当センター会議室	後藤 ひろ子 沢田 幸子 矢谷 久美子	・具体的なカリキュラムの詳細を検討。 ・実習観察シートの内容を検討 ・実習補助者へのアンケート内容の検討	実際のカリキュラムの内容をより具体的に検討した。 (講座内容、実習観察シート、中上級者の実習、アンケートについて)
10月8日	当センター会議室	大和田 邦子 後藤 ひろ子 沢田 幸子 矢谷 久美子	・講座前半の様子を報告、引き継ぎ。 ・後半のカリキュラムを検討	前半各回の具体的な報告、また後半カリキュラムの具体的な検討をした。また、中上級レベルの学習者情報の発表を行った。
1月14日	当センター会議室	大和田 邦子 後藤 ひろ子 沢田 幸子 矢谷 久美子	・講座の評価について ・事業の成果について ・今後の改善点	受講者アンケート結果を踏まえながら、研修の成果について意見交換を行った。

【写真】



3 研修講座の内容について

(1) 研修講座名

神戸で活動する日本語ボランティア実践講座

(2) 研修の目標

日本語支援活動を2年以上経験した者を対象として、中上級の日本語教授法を身につけることで、今後の活動に活かすことを目標とする。

(3) 受講者の総数 30 人(内2名が途中終了)

(出身・国籍別内訳 日本 30人)

(4) 開催時間数(回数) 40 時間 (20 回)

(5) 参加対象者の要件

- ①神戸市内でボランティアとして、日本語学習支援活動を2年程度又はそれ以上行っている者
- ②全20回とも出席できる者
- ③講座の趣旨に同意し、かつ、会場の設営、準備、片付け等に協力できる者
- ④今後、本講座で学んだことを生かして、日本語学習支援活動を行っていく者

(6) 受講者の募集方法

- ①募集チラシを作成し、センター内に掲示のほか、当センターのホームページに掲載。
- ②当センターで4回以上日本語学習支援活動経験のある日本語ボランティアに対し、案内チラシと案内メールを送付した(別途募集チラシ添付)
- ③神戸市内の日本語ボランティア教室へチラシ送付し、広く募集を行った。

(7) 研修会場

- ア 講義: 当センター会議室
- イ 実習: 当センター会議室

(8) 使用した教材・リソース

- ・ にほんご ボランティア手帖 凡人社
- ・ にほんご これだけ! ココ出版
- ・ 語彙マップで覚える漢字・語彙中級 1500 Jリサーチ出版
- ・ ストーリーで覚える漢字Ⅱ くろしお出版
- ・ 会話教材をつくる スリーエーネットワーク
- ・ 日本語でできる! 外国人のためのパソコンのきほん スリーエーネットワーク
- ・ 平成21年度 日本語能力試験1・2級 試験問題と正解 凡人社
- ・ みんなの日本語中級 教え方の手引き スリーエーネットワーク
- ・ 文化中級日本語 凡人社
- ・ J.Bridge FOR BEGINNERS 1 凡人社
- ・ 日本語初級1 大地 基礎問題集 スリーエーネットワーク
- ・ 日本語初級1 教師用ガイド スリーエーネットワーク
- ・ 日本語を話すトレーニング ひつじ書房
- ・ 留学生のための現代日本語読解 Jリサーチ出版
- ・ にほんご敬語トレーニング アスク
- ・ かなマスター 三修社

- ・ 日本人でも知らない!?外国人の大疑問 アルク
- ・ みんなの日本語DVD スリーエーネットワーク
- ・ 上級へのとびら きたえよう漢字力 くろしお出版
- ・ にほんごチャレンジ アスク
- ・ 短期マスター 日本語能力試験ドリル 凡人社
- ・ Q&A 外国人・留学生支援「よろず相談」ハンドブック セルバ出版
- ・ にほんご90日 ユニコム
- ・ BASIC KANJI WORKBOOK 使って、身につく! 漢字×語彙 凡人社
- ・ JAPAN ATLAS A BILINGUAL GUIDE 日本アトラス 講談社インターナショナル
- ・ 外国人力士はなぜ日本語がうまいのか 明治書院
- ・ コロケーションで増やす表現 くろしお出版
- ・ シャドーイング 日本語を話そう くろしお出版
- ・ にほんご よむよむ文庫 アスク
- ・ 日本語教育でつくる社会 ココ出版
- ・ 日本語文法演習 スリーエーネットワーク
- ・ ニュースの日本語 スリーエーネットワーク
- ・ ひとりでできる 初級日本語文法の復習 スリーエーネットワーク
- ・ ロールプレイ玉手箱 ひつじ書房
- ・ わくわく文法リスニング 凡人社
- ・ 学ぼう! にほんご 専門教育出版
- ・ 楽しく覚えるにほんご語彙・表現 ジャパンタイムズ
- ・ 中・上級日本語教科書 日本への招待 東京大学出版会
- ・ 外国人をサポートするための生活マニュアル スリーエーネットワーク
- ・ 日本語5つのとびら 凡人社
- ・ 日本語教師のための実践・漢字指導 くろしお出版
- ・ 日本語初級大地 スリーエーネットワーク
- ・ 日本事情・日本文化を教える ひつじ書房
- ・ カタカナ語彙トレーニング スリーエーネットワーク
- ・ リズムで身につく日本語の発音 スリーエーネットワーク
- ・ 日本語単語スピードマスター Jリサーチ出版
- ・ にほんご発音かんたん 研究社

等

(9) 講座内容

日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
8月6日 14:00～16:00	I.日本語ボランティアとは ・自己紹介等	神戸松蔭女子学 院大学教授 下田 美津子	26名
8月20日 14:00～16:00	I.日本語ボランティアとは ・ボランティア活動における 悩み共有	神戸松蔭女子学 院大学教授 下田 美津子	29名
8月27日 14:00～16:00	II.実習①(初級者) ・学習者のニーズを引き出そ う、実習準備	財団法人 海外 技術者研修協会 矢谷 久美子	29名
9月3日 14:00～16:00	II.実習①(初級者) ・学習者と対面。ニーズの確認 等	財団法人 海外 技術者研修協会 矢谷 久美子	29名
9月10日 14:00～16:00	II.実習①(初級者) ・活動案作り	当センター 日本 語ボランティア 後藤 ひろ子	27名
9月17日 14:00～16:00	II.実習①(初級者) ・学習者との実習	当センター 日本 語ボランティア 後藤 ひろ子	27名
9月24日 14:00～16:00	II.実習①(初級者) ・フィードバック	当センター 日本 語ボランティア 後藤 ひろ子	25名
10月1日 14:00～16:00	II.実習①(初級者) ・学習者との実習	当センター 日本 語ボランティア 大和田 邦子	26名
10月8日 14:00～16:00	II.実習①(初級者) ・フィードバック	当センター 日本 語ボランティア 大和田 邦子	27名
10月15日 14:00～16:00	II.実習①(初級者) ・講師による学習者との活動方 法案(副教材や教具の使い方 など)	当センター 日本 語ボランティア 大和田 邦子	27名
10月22日 14:00～16:00	III.中上級の学習支援の方法 ・中上級の「話す」活動	当センター 日本 語ボランティア 後藤 ひろ子	25名

10月29日 14:00~16:00	Ⅲ.中上級の学習支援の方法 ・中上級の「読む」活動	当センター 日本語ボランティア 後藤 ひろ子	25名
11月5日 14:00~16:00	Ⅵ.実習②(中上級者) ・学習者と最初の対話を体験し、お互いに知り合う	財団法人 海外技術者研修協会 沢田 幸子	27名
11月12日 14:00~16:00	Ⅵ.実習②(中上級者) ・学習者の話す力を伸ばすための活動案作り「交渉的な会話」を練習する	財団法人 海外技術者研修協会 沢田 幸子	26名
11月19日 14:00~16:00	Ⅵ.実習②(中上級者) ・実習:会話のテキストを使って活動する	財団法人 海外技術者研修協会 沢田 幸子	27名
11月26日 14:00~16:00	Ⅵ.実習②(中上級者) ・学習者の話す力を伸ばすための活動案作り「対話を中心とした活動」	財団法人 海外技術者研修協会 沢田 幸子	25名
12月3日 14:00~16:00	Ⅵ.実習②(中上級者) ・実習:対話を中心とした活動	財団法人 海外技術者研修協会 矢谷 久美子	28名
12月10日 14:00~16:00	Ⅵ.実習②(中上級者) ・実習の振り返りと読む活動 活動案作り	財団法人 海外技術者研修協会 矢谷 久美子	26名
12月17日 14:00~16:00	Ⅵ.実習②(中上級者) ・実習:「読む」活動	財団法人 海外技術者研修協会 矢谷 久美子	27名
12月24日 14:00~16:00	Ⅴ.まとめ	当センター 日本語ボランティア 後藤 ひろ子	28名

(10) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート

- ・ ボランティア同士の興味や悩みを共有出来た。
- ・ 参考図書をいろいろ紹介していただいたので、活用したいと思う。
- ・ 毎回テーマを変えて取り組めたので、いろんな指導法を模索することができた。
- ・ 全20回があつという間に過ぎて実りの多い講座だった。

- ・ 学習者のニーズにあった日本語学習を実のあるものにする為に、各講座でアドバイス頂いたことを土台に学習の一番身近な日本人として共に学び合いたい。
- ・ 日本語ボランティアとしての考えが、私にないものがたくさんあり、刺激的だった。
- ・ 「説明のしすぎ」というのは肝に銘じたいと思った。
- ・ 対話中心のレッスンにあまり意義を感じていなかったが、学習者に得るものがあると気づけた。
- ・ 他のボランティアグループの皆さんと話すだけでも十分刺激になった。教科書をより、学習者に寄り添う道具として使うことを気づけた。
- ・ 中上級の支援というのが言葉だけの理解をしていただけて具体的にどう違ってくるのかについて頭の整理が出来た。
- ・ 他の場所で活動している方々と知り合えたのが良かった。座学ではなく話し合いの場が多かったので自然と分かり合っていた。
- ・ あらためて支援者の位置づけがわかりとてもよかった。実習に対してのフィードバックが反省等に偏りがち。もっと成功例をたくさん聞きたかった。
- ・ ほかのボランティアの方の実習や活動案の作り方など意外なことも多く、大変勉強になった。
- ・ 自分の欠点「教えたがる」「テキストを使っているため、駆け足で進みすぎる」等をそうならないように努力していきたい。
- ・ 他者のスタイルを観ることが学びとなった。観られるというのも、又、実際の外国人対象というのもより慎重になり吸収するものが多かった。チームメイトと相談でき、いろいろな意見を参考にできるいい機会となった。
- ・ ボランティアとしての支援方法のあり方を理解する事ができ、少し気持ちにゆとりを持つことが出来た。
- ・ 話が出来ると、応答が出来ると理解出来ているという思い込みに気づけた。
- ・ 今まで他の人の勉強の進め方などみる機会がなかったので、今回いろんな人の教え方を実習を通してみることで参考になった。反省することがいっぱい出来たので、今後の活動にいかしたい。
- ・ 日本語ボランティアとしての役割がよくわかり、普段留意している点以外の捕え方にも目を向けることができた。例えば「できること」「できないこと」の判断ポイントは、やはり文法的に偏りがちだったが、談話能力等も必要であることを理解した。
- ・ 新しい情報、テキスト、新聞などからのニュース、切り抜きなど一人では知り得ないことを教えてもらい、参考書の紹介など大変助かった。

- ・ 学習者に向かう時、ゆっくり話す、相手の話が終わるのを待つ。全体的に早く進めすぎているので、今回の講座を参考に「待つ姿勢」をもちたいと思う。
- ・ 該当する学習者に対し、少し持て余し気味だったが、同グループ内の支援者の一人の「だんだん学習者が好きになってきた」と云う一言で大事なことを教えてもらった気がした。

② 実施主体からの研修内容結果評価

前回よりも実習時間を多く取り入れ、特に同じ学習者に対して繰り返し、活動案作成、実習、フィードバックを行うことにより、受講生がこれまで支援してきた活動について、新たな「気づき」があったようである。

また、受講生同士が意見交換・協力しあいながら、実習に向けての活動案の作成やグループワークを行ってきたが、受講後、受講生同士が地域日本語教室の立ち上げを自主的に検討するなど、ネットワークづくりに寄与することができた。

このほか、講座を通して、受講生は様々な教材があることが分かり、意識が変わって工夫が出来るようになったようである。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

- ・ 受講生中心の地域日本語教室立ち上げへの側面支援や、日本語ボランティア同士が意見交換できる場を提供していく。
- ・ 本当に日本語の支援が必要であるが、支援できていない外国人に対し、例えば、そこに行けば日本語を学べるという場所等を作っていきたい。

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

当センターの日本語ボランティアを始めとする神戸市内の地域のボランティア活動に寄与することができた。

② 研修後の人材活用

同様の講座等の補助講師として、当講座の修了生を活用する。また、当センターの日本語ボランティアを始めとする神戸市内の地域ボランティアとして活動する。

(12) 今後の課題

当センターでは講義形式による講座を開催しているが、日本語ボランティアの意識やスキルも上がってきており、それに見合った講座を創造していく必要がある。また、日本語ボランティアが主体となり、地域における外国人支援活動を行っていく必要がある。

日本語ボランティアの経験 2 年程度以上、

神戸でボランティアをしている方のための…

実習重視!

日本語ボランティア実践講座



神戸で活動されている日本語ボランティアさんのための実践講座。

講義 24 時間・実習 16 時間の計 40 時間。

講座は、日本語講師の方々、大和田邦子氏・後藤ひろ子氏・沢田幸子氏・下田美津子氏・矢谷久美子氏に担当していただきます。

また、実際に、外国の方を招いて実習も行います。

なお、本講座は文化庁の「平成 22 年度 生活者としての外国人のための日本語教育事業」として開催します。

2010年8月6日~2010年12月24日
金曜日 14:00~16:00 (全20回)

8月13日を除く

ところ

神戸国際コミュニティセンター (KICC) 会議室

対象

- ① 神戸市内でボランティアとして、日本語支援活動を 2 年程度又はそれ以上行っている方
- ② 全 20 回とも出席できる方
- ③ 受講生のみなさんと共に作り上げていく講座なので、講座当日の設営、準備、片付け等を手伝っていただける方
- ④ 今後、本講座で学んだことを生かして、日本語学習支援活動を行っていく方

*詳しくは、別紙の申込書をご覧ください。

受講料

文化庁からの委託事業のため今回限り無料

使用教材

自主作成したもの (当日に資料を配布します)

定員

30 名 (応募者多数の場合は抽選させていただきます。ただし、21 年度日本語ボランティア実践講座未受講の方を優先します。)

申込締切 2010年 7月 14日(水) 必着

結果通知 応募者多数の場合、抽選させていただきます。
結果は、7月21日(水)までに封書にてお送りします。
結果を 7月21日(水)までに受け取っていない方は下記問い合わせ先までご連絡ください。

申込方法 添付の申込用紙に必要事項を記入し、KICCカウンターに提出してください。
また、封書・FAXの場合は、申込書を同封・添付してお送りください。

申込・お問い合わせ先

〒651-0087 神戸市中央区御幸通8-1-6 神戸国際会館20F

神戸国際コミュニティセンター 日本語ボランティア実践講座係まで(担当:月野)

☆TEL: (078)291-8441

電話での申し込み不可。

受付時間: 平日9時~12時、13時~17時

☆FAX: (078)291-0691



日本語ボランティア実践講座 申込書

お名前	姓	名	男 女
	(ローマ字)		歳
住 所	〒 電話番号: 携帯番号: Eメールアドレス:		
平成21年度 日本語ボランティア実践講座を受講しましたか?	<input type="checkbox"/> はい		<input type="checkbox"/> いいえ
KICCに登録されていますか?	<input type="checkbox"/> はい(いつから?))	<input type="checkbox"/> いいえ
KICC以外の外国人支援団体に所属している場合はその団体名			
日本語支援経験	約 年 か月 (約 人)		
主な日本語支援対象者 ○を付けて下さい	ビジネス関係者 インドシナ難民 一般社会人 中国帰国者 研修生 留学生 日系人 小中高校生 国際結婚の配偶者 工場等で働いている(就労)人 その他 (複数回答可)		
使ったことがあるテキスト ○を付けて下さい	「みんなの日本語 I・II」 「新日本語の基礎 I・II」 「Japanese for Busy People I・II・III」 「じっせんにほんご」 「文化初級日本語」 「初級日本語 げんき」 「にほんご宝船」 「日本語おしゃべりのたね」 その他 (複数回答可)		
現在、日本語支援活動をしている場所			
どんなことに気をつけて日本語支援をしていますか?していましたか?			

裏面もご記入をお願いします。

<p>日本語初級者に対して日本語支援活動をしたことがありますか？どんな方法で？</p>	<p><input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>方法:</p>
<p>日本語がある程度話せる方に対して日本語支援活動をしたことがありますか？どんな方法で？</p>	<p><input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>方法:</p>
<p>今回の講座の受講希望理由</p>	
<p>困っていること・問題点等</p>	
<p>チェック欄</p>	<p>全項目確認後、チェックして、最後に了解のサインをお願いします。全ての項目にチェック出来ない方は、ご相談ください。</p> <p><input type="checkbox"/> 現在のところ、全20回受講できます。</p> <p><input type="checkbox"/> 日本語ボランティアの経験が2年程度以上あります。(経験が少ない方はご相談ください)</p> <p><input type="checkbox"/> 講座内では、他の方から自分の支援活動を観察されたり、他の方の支援活動を観察します。</p> <p><input type="checkbox"/> 会場の準備、片付け等、交代で手伝います。都合が悪くなったときは、自主的に他の受講生と連絡を取り、交代します。(この講座は、受講生みなさまで作り上げていきます)</p> <p><input type="checkbox"/> 今後も、日本語学習支援活動を続けていきます。</p> <p style="text-align: right;">サイン _____</p>
<p>備考欄 (開催者用)</p>	